

9.3. 菊川地域の再編方針

9.3.1. 再編のポイント

路線・地域の抱える課題

- 菊川地域中心部を基点として、7路線が運行しており、どの路線も1便当たりの平均利用者数は3人/便を下回っており(平成30年度実績)、利用者数は年々減少傾向にある。
- 小学生の通学時や放課後児童クラブへの移動時の利用が存在しているが、放課後児童クラブの移転が予定されており、移動需要が変化する。
- 内日・豊浦地域における路線バスとの接続性の改善の要望がある。
- 樅ノ木・保木線の沿線で農作物等の庭先集荷の要望がある。

再編の方向性

- 菊川地域の各小学校から、放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤに再編を行う。
- 地域の移動ニーズを考慮した路線の再編やダイヤの見直しを行う。
- 樅ノ木・保木線の区域運行化とともに、少量貨物輸送を行う。

再編内容

生活バス
菊川・豊浦線
(久野線
旧称:久野・上田部線)

<Step. 1>

- 檜崎小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズや、豊浦地区での路線バスへの乗り継ぎに対応した路線・ダイヤの設定。
- 菊川～豊浦間の移動時間短縮のため経路を短縮。

生活バス
内日・田部循環線
(旧称:内日・田部線)

<Step. 1>

- 日新集落・内日集落を周回する循環型路線に再編。
- 河原バス停で路線バスへの乗り継ぎに対応したダイヤの設定。

生活バス
上岡枝・貴飯循環線

<Step. 1>

- 岡枝小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤの設定。

生活バス
吉賀・上田部循環線

<Step. 1>

- 菊川・豊浦線の路線変更を受け、上田部への便数を増便。
- 放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤの設定。

生活バス
大野循環線

<Step. 1>

- 豊東小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤの設定。

生活バス
樅ノ木・保木線

<Step. 1>

- 路線不定期運行を区域運行に変更。
- 貨客混載による少量貨物輸送の実施。

9.3.2. 再編前後の路線網



9.3.3. 路線別の再編内容

(1) 菊川・豊浦線（久野線）

<Step. 1 >

運行の目的	菊川地域中心部から吉賀、久野、川棚を連絡する定時定路線の生活バスである。檜崎小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズや、豊浦地区での路線バスへの乗り継ぎに対応した路線・ダイヤの設定とともに、菊川～豊浦地区間の移動時間短縮のための経路を短縮し、移動利便性の向上を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	路線定期運行
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
系統① (菊川・豊浦線)	起点	バスターミナル	20.4	3.0 往復	4.0 往復
	主な経由地	吉賀、久野、川棚			
	終点	川棚駅			
旧系統② (久野・上田部線)	起点	バスターミナル	18.2	2.0 往復	/
	主な経由地	上田部、七見、吉賀、久野			
	終点	多々良			
新系統② (久野線)	起点	バスターミナル	13.7	/	1.5 往復 (土曜日運休)
	主な経由地	吉賀、久野			
	終点	多々良			

(2) 内日・田部循環線

<Step. 1 >

運行の目的	菊川地域中心部から吉賀、檜崎、日新、内日を連絡する定時定路線の生活バスである。利用し易さのため、日新集落・内日集落を周回する循環型路線に再編するとともに、河原バス停での路線バスへの乗継需要に対応したダイヤの検討を行い、利便性向上を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	路線定期運行
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
右回り	起点	バスターミナル	23.8	/	2.0 循環
	主な経由地	吉賀、檜崎、日新、内日河原			
	終点	バスターミナル			
左回り	起点	バスターミナル	23.8	/	3.0 循環
	主な経由地	吉賀、檜崎、日新、内日河原			
	終点	バスターミナル			
旧系統	起点	バスターミナル	23.0 (往復)	6.0 往復 (土曜：5.0 往復)	/
	主な経由地	吉賀、檜崎、日新			
	終点	内日河原			

(3) 上岡枝・貴飯循環線

<Step. 1>

運行の目的	菊川地域中心部から上岡枝、貴飯、吉賀を経由する定時定路線・循環型の生活バスである。 岡枝小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤを設定し、移動利便性の向上を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	路線定期運行
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
北回り	起点	バスターミナル	27.3	2.0 循環	2.0 循環
	主な経由地	上岡枝、貴飯、吉賀			
	終点	バスターミナル			
南回り	起点	バスターミナル	27.3	2.0 循環	2.0 循環
	主な経由地	上岡枝、貴飯、吉賀			
	終点	バスターミナル			

(4) 吉賀・上田部循環線

<Step. 1>

運行の目的	菊川地域中心部から上田部、七見、吉賀を経由する定時定路線・循環型の生活バスである。 菊川・豊浦線の路線変更による上田部・七見地域の減便に対応して、増便による上田部・七見地域の便数を維持し、放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤの設定を行い移動利便性の向上を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	路線定期運行
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
右回り	起点	バスターミナル	20.3	1.0 循環	3.0 循環
	主な経由地	上田部、七見、吉賀			
	終点	バスターミナル			
左回り	起点	バスターミナル	20.3	1.0 循環	2.0 循環
	主な経由地	上田部、七見、吉賀			
	終点	バスターミナル			

(5) 大野循環線

<Step. 1>

運行の目的	菊川地域中心部から上大野、下大野を経由する定時定路線・循環型の生活バスである。 豊東小学校から放課後児童クラブへの移動ニーズに対応した路線・ダイヤの設定を行い、移動利便性の向上を図る。 なお、当該循環線については、サンデン交通の路線と一部重複しているため、運行回数の効率化を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	路線定期運行
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
大野循環線	起点	バスターミナル	20.0	3.0 循環	2.0 循環
	主な経由地	上大野、下大野			
	終点	バスターミナル			

(6) 縦ノ木・保木線

<Step. 1>

運行の目的	菊川地域中心部から中山、上保木、下保木、轡井、縦ノ木・道市地区を経由する予約運行の生活バスである。 路線不定期運行を区域運行に変更し、発着の自由度を高めるとともに、貨客混載による少量貨物輸送の実施を検討し、利用利便性の向上を図る。
運行事業者	下関市
事業の種類	自家用有償
運行の形態	区域運行（予約制）
車両	小型車両
運行日	平日、土曜日

系統	運行区域	系統キロ	運行回数	
			再編前	再編後
縦ノ木 ・保木線	起点：バスターミナル 終点：縦ノ木 経由地：中山地区、上保木地区、 下保木地区、轡井地区、 縦ノ木・道市地区		4.0 往復	4.0 往復